

1.5 メダカの形質と品種名の付け方

改良メダカにはどんな特徴があるのでしょうか？日本メダカ協会が発行している「日本メダカ協会公式ガイドライン 品種分類マニュアル」では、改良メダカの特徴を7グループ45種類※に分けています。本書では、このマニュアルを基準に改良メダカの品種分類をしています。

メダカの特徴を知りたい！という方は、まずは45種類の特徴を覚えてみてはいかがでしょうか？メダカの特徴が判別できるようになれば、あなたはメダカ中級者です。上級者を目指す方は、さらに詳しい、【形質補足】40種類、【共通補足】11種類(次ページ)を学習してみてください。これらすべての特徴が判別できるようになれば、メダカ上級者、そして品種名の命名をマスターしたことになります。※体型の普通種(=普通種体型)は野生メダカと同じ特徴であるため、45種類に含んでおりません。

メダカの特徴は7グループ45種類に分けられます。

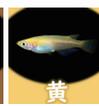
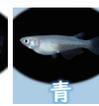
	<p>たいしょく 体色 (10種類)</p>	<p>体全体の色合い</p>
	<p>とうめいりん 透明鱗 (2種類)</p>	<p>エラ蓋部分の色合い (透け具合)</p>
	<p>目の変化 (10種類)</p>	<p>目の色や形の変化</p>
	<p>こうしきそほう 虹色素胞 (6種類)</p>	<p>光沢やラメなどキラキラ系の特徴</p>
	<p>がら 柄 (2種類)</p>	<p>もようのようなイメージ</p>
	<p>ヒレ変化 (12種類)</p>	<p>各ヒレの長さや形の変化</p>
	<p>たいけい 体型 (3種類)</p>	<p>体のかたち</p>

memo
特徴のことを形質(けいしつ)と呼ぶこともあります。形質は遺伝によって子孫に伝えられる性質のことですので、「メダカの特徴の中でも特に遺伝によって次世代に伝わる特徴の事を形質と呼ぶ」と表す事もできます。

改良メダカの特徴7グループ 45種類

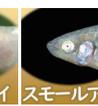
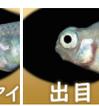
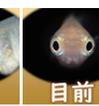
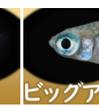
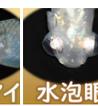
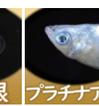
体色

赤字：形質と同様の意味で使用されている言葉。実際には細かいニュアンスが異なることがあります。

									
茶	黄	白	青	ブラック	黄金	琥珀	朱赤	オレンジ	ピンク
体色が茶である	体色が黄である	体色が白である	体色が青である	体色が黒である	体色が黄金である	体色が琥珀である	体色が朱赤である	体色がオレンジである	体色がピンクである

透明鱗

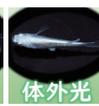
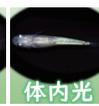
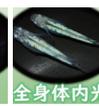
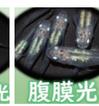
目の変化

											
透明鱗	半透明鱗	アルビノ	パンダ	ルビーアイ	スモールアイ	出目	目前	ビッグアイ	水泡眼	プラチナイ	アースアイ
エラ蓋部分が赤く透けて見える	普通鱗と透明鱗の中間の表現で、透明感のある体色である	目が赤く透けて見える	虹彩が黒く、目全体が黒い	瞳孔が赤黒く見える	黒目の部分が小さく、背地反応しにくい	両目が飛び出している	目が斜め前を向いている	眼径が特別に大きい	眼球の角膜が膨らみ、水泡が形成される	角膜の部分的にラメのような光が発現する	瞳孔部分が虹色素胞で覆われ目の色が変化する
		色			形			色			

オーロラ

虹色素胞

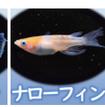
柄

					
ラメ	体外光	体内光	全身体内光	腹膜光	ヒレライン
鱗片に光が発現する・透明鱗性には発現しない	背中に青白い光が発現する	体の中に、青白い光が発現する	・体内の所々に、鮮やかな光がある・透明鱗性である	・腹膜部に鮮やかな光が発現する・透明鱗性である	ヒレの中の軟条に沿って線状に虹色素胞が発現する

	
斑	ブラッククリーム
・体の所々に黒斑が発現する ・斑は背地反応するため、白水槽では発現しない	鱗を強調するように黒色素胞が発現する

錦 (にしき)
墨 (すみ)

ヒレ変化

											
サムライ	菱尾	マルコ	メラー	スロー	ヒレ長	ロングフィン	ワイドフィン	リアルロングフィン	モルフォ	フサヒレ	ナローフィン
・背ビレが2枚になる ・ヒカリ体型、ヒカリダルマ体型に発現する	普通種体型、ダルマ体型の尾ビレが菱形になる	背ビレがない	鰭膜が欠如し、各ヒレが複数枚になる	各ヒレが部分的に伸長する	ヒレ全体が大きく伸長する	背ビレとしりビレの軟条が全体的に伸長する	しりビレ、背ビレの幅が広い	全てのヒレの長さが、ヒレの形状を維持したまま1.5倍以上に伸長する	尾ビレが扇(おうぎ)状になり、ヒレの先が鋸歯(きょし)状になる	軟条が途中で分岐し、房(ふさ)状になる	しりビレの幅が短く軟条が密集している

セルフフィン

新体型

背ビレなし

風雅(ふうが) 松井ヒレ長
天女の舞

体型

		
ヒカリ	ダルマ	ヒカリダルマ
尾ビレが菱尾になり、背ビレがしりビレと同じ形状になる	体長が普通種の半分程度(骨曲がり)による短さは考慮しない	ヒカリ体型とダルマ体型の特徴が発現している



本ページは「日本メダカ協会公式ガイドライン 品種分類マニュアル」を基に作成しました。詳しい解説はマニュアルをご覧ください。



また、マニュアルをより分かりやすく説明した「メダカの見分け方解説シリーズ」もオススメです。

改良メダカの形質補足 40 種類、共通補足 11 種類

補足は、形質をさらに細かく分けたものです。1つの特徴の中で色々な表現があるので【補足】としてまとめています。青メダカを例にすると、青体色の中にさらに4種類の体色表現があります。これらは青体色という形質の補足なので【形質補足】としてまとめられます。また、どのメダカにも共通して出現する可能性のある補足を【共通補足】としてまとめています。



改良メダカの品種名の付け方

ここまで学んできた、形質 45種類、形質補足 40種類、共通補足 11種類を利用して品種名を付けてみましょう。

- ・品種名は形質の組み合わせで表現します。
(ニックネームやハウスネームとは異なり、機械的に命名されます)
- ・組み合わせ順は、形質一覧表の左上から順番に並べます。
- ・形質にて説明できない特徴は補足にて説明します。

例えば、下のメダカで品種名をつけてみましょう。

- ①メダカの特徴を観察します(上見、横見、白黒水槽での背地反応など)
→体色が朱赤、目が小さい、体型はヒカリとダルマの両方の性質を持っている
- ②観察した特徴を、形質や補足一覧から探します
→「朱赤」「スモールアイ」「ヒカリダルマ」
- ③特徴を順番に並べます
→品種名は「朱赤スモールアイヒカリダルマメダカ」

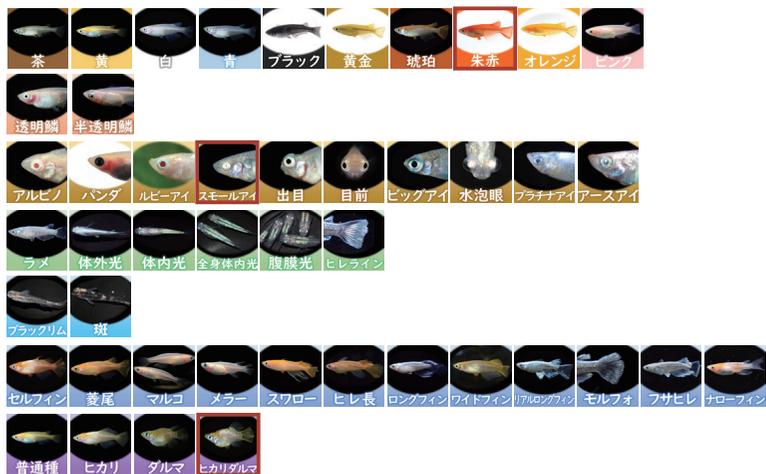
どんなメダカでも、品種名をつけることでメダカの特徴が明らかになります。品種名で呼ぶことで、初心者でもメダカ同士の違いを判別できるようになります。

メダカの品種名は3ステップで判別します。

①メダカの特徴を観察します。



②特徴を選びます。



③特徴を順に並べます。

品種名：朱赤スモールアイヒカリダルマメダカ